



教科名： エンジン整備2

2024年度

講義

一級自動車工学科・自動車整備科

時 期： 2 年 後期

科 目： 自動車整備

時限数 ： 15時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY24	シラバスメンテナンス	3/18	合田
FY25			
FY26			
FY27			
FY28			
FY29			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科			2024年度 授業計画			
時 期	2 年C巡	単元	講義	教科名	エンジン整備C	
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2 級自動車ガソリン・エンジン		発行日	2024年3月18日
			2 級自動車ディーゼル・エンジン			
※ 注1 総時限	15時限			教科担		村上 政明
※ 注1 授業時間	24時間		当		長井 一真	※ ● ■
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1945.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース））						
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士としてエンジン整備の実務経験がある教員により、エンジンの整備について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
① 4 ストローク 1 サイクルエンジンの構造、作動を理解する。						
② ガソリン・エンジン、ディーゼル・エンジンの吸排気装置の構造、作動を理解する。						
③ ガソリン・エンジンの点検整備を理解する。						
④ ガソリン・エンジン、ディーゼル・エンジンの故障原因診断を理解する。						
⑤ ディーゼル・エンジンの燃料装置の構造、作動を理解する。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）						
① エンジンの吸排気装置の過給機の役割、構成部品、名称を理解し説明できる。						
② エンジンの吸排気装置の過給機の構造、作動、制御を理解し説明できる。						
③ ガソリン・エンジンの吸排気装置の可変吸気装置を理解し説明できる。						
④ ディーゼル・エンジンの吸排気装置の排気ガス後処理装置を理解し説明できる。						
⑤ ガソリン・エンジンの点検整備の方法を理解し説明できる。						
⑥ ガソリン・エンジン、ディーゼル・エンジンに係る故障現象、探究方法を理解し説明できる。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。						
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する						
・合格点：（工学科70点以上・整備科60点以上）						
工学科 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可						
整備科 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可						
・不合格の場合、再試験を受験し、工学科70点以上、整備科60点以上で合格とみなす。						
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。						
・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						
2級自動車ガソリン・エンジン、2級自動車ディーゼル・エンジンの各テキストの指示された項目を予習しておくこと。						
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す						
※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者						
6. 指導目標						
① ガソリン、ディーゼルエンジンの吸排気装置の過給機について理解させる。						
② ガソリンエンジンの吸排気装置の可変吸気装置について理解させる。						
③ ディーゼルエンジンの吸排気装置の排気ガス後処理装置について理解させる。						
④ ガソリンエンジンの点検整備の方法を理解させる。						
⑤ ガソリン、ディーゼルエンジンに係る故障現象、探究方法を理解させる。						
⑥ コモンレール式高圧燃料噴射装置の特徴、制御システムについて理解させる。						
⑦ コモンレール式高圧燃料噴射装置の構成部品、名称、構造、作動、制御について理解させる。						

[illegible]